

セミナー通信

—教育実習総合センター—

教師力向上講座始まる!

近い将来、教壇に立つP3生のニーズに応える、「授業力」を磨こう」と題した実践サポートが始まりました。
授業展開や学級経営等への不安・悩みを解消すべく、外部講師を招聘して、実践力向上、教師力アップを目指します。



岸本清明先生

第1回は甲南女子大非常勤講師の岸本先生から「教師として知っておくべき生物に関する知識」と題して講義を頂きました。

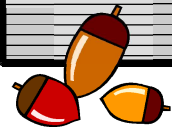


このドングリの種類は?

身近な生物に直接触れる活動を通して、実感を伴った理解を深めました。特に、野外観察における、毒を持つへび、毒のある植物、毒を持つ虫等、教師が知っておくべき注意事項など有益な内容でした。

大切な事実があることを指導頂きました。

また、よく似た植物を見分ける時のポイントも分かりやすく指導頂き、教師として、自然観察力を高めることの大切さも教えて頂きました。



ユリの実の中は…?

講義後半は、場所を屋外に移し、キャンパス内の自然に直接触れながら指導頂きました。「秋の自然見つけ」の授業に直結する樹木の紅葉や種や実の観察の仕方を楽しんで教えていただきました。

P3生の感想より

●興味関心を持ったこと、よかったこと
子供と楽しみなが自然に触れ、学びに繋げるということに強い関心を持ちました。また、教室の外に出て、自然と触れあう中で普段ならじっくりと観ることのない植物やクモの姿に心を動かされました。学校で子供たちと育てるアサガオ(種)に毒があるなんて、思いもよりませんでした。扱い方を誤ると危険なことまで起こることをしっかりと心に留めておきたい。
こうした学習は来春からの勤務校でも実践したいと思いました。その為にも確かな知識と学級経営力が必要だと感じました。



種に羽がついている!

講義を受けてもっと知りたいこと、やって欲しいこと

●野外活動をたくさん取り入れた理科授業をもっと勉強したい。
●子供と発見することの楽しさを感じた授業が出来るといいなと感じた。

第2回目

三木市立別所小学校長の**大北先生**から「**国語力**は人間力」の重要性についてお話頂きました。



大北由美先生

お話を頂きました。

先生は、まず「言葉は、文化を大事にするための道具、考えるための道具である。」と話をされ、週当たり指導時間が多い(1・2年生で週9時間)国語の授業の大切さを熱く語られました。授業の作法「教師の作法」についてポイントを教えてくださいました。そして、実際に、第1学年「うみのかくれんぼ」を題材として、指導案づくりの実習に入りました。



この教材で何をねらう?

単元目標の作り方です。



単元の「ゴール」は?

グループで話し合うと、色々な単元目標が出てきて、受講者は教材研究の大切さや面白さに気づかされたようでした。

P3生の感想より

●興味関心を持ったこと、よかったこと
同じ単元の複数の指導案をみることで、指導者によって指導観が異なることがよくわかった。
さまざまな意見を聴くことで多様な単元計画が考えられることを知ることができた。
言葉や文字を普段から意識して遣うことの大切さを改めて感じました。
「授業の作法」、「教師の作法」をぜひ実践していきたいと思えます。
先生の話をきいて、はやく現場に立ちたいという思いが強くなりました。
国語の教材研究の面白さがわかりました。

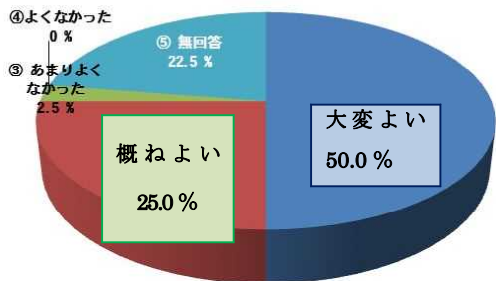
講義を受けてもっと知りたいこと、やって欲しいこと

●他の教科についても指導の実践について知る機会があれば知りたいです。

「インターシッパ」や後期授業開始直後という時期にもかかわらず、来春、教壇に立つ自分の姿と重ね合わせ、意欲的に参加するP3生の姿が見られました。次の教師力向上講座も期待して参加してください。

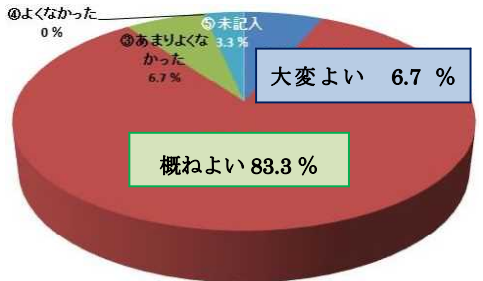
前期「セミナー」アンケート結果から

実践サポートの評価



実践サポート(教育講演会・特別支援教育の実践・先輩からのアドバイス)に対する満足度は?(P1生)

セミナー通信の評価



セミナー通信に対する満足度は?(P2生)

●来春、教壇に立つ者として、これからはどんなことを身につけたいですか。(P3生)
話し方(声の抑揚、強弱、間の取り方等々)
授業中の子供の発言の取り上げ方(声のかけ方のバリエーション)
子供のやる気を喚起する授業づくり
要点を的確に話す力
学期初めの話(学級開きの時の担任からの呼びかけ)や小話(心を打つエピソード)などのネタを増やした
板書や、板書計画を立てる力
児童の学力や技能を確実に伸ばすことができる授業力
●教育実習総合センターでは、実践セミナー全体を通して、教員として高度な実践的指導力を身につけることをねらいとしています。これからも、「学校現場が求める教師」の視点から様々なサポートを行ってまいります。センターをどんどん活用してください。

P1論文作文指導始まる!



全11回シリーズの第1回目が10月14日から始まり、第1回は、コピーライターから論文作成のポイント、及び留意点について指導がありました。論文作成は、教員採用試験での集団討論、個人面接、場面指導等で、自分の考えや思いを述べるのに役立ちます。また、教職に就いた後の現場においても必ず役立ちます。

●セミナー通信に対する意見・感想
先輩方がよく分かりよかったです。教育現場で活躍されている先輩方の体験談がとても参考になりました。特に卒業生の手記はよかったです。自分も交流が深かった先輩なので教職へのモチベーションも高まりました。
●回答者全体の約9割が肯定的な評価でした。今後、より読みやすく見やすく、役立つセミナー通信を発行していきます。